

# これからヤバイ世界経済

三橋高明 ・ 渡邊哲也

## { 第一のポイント～ゼロ成長に向かう中国 }

中国の巨大なゴースタウン人口3万人の地域に100万人住める巨大なマンション群を建設しているが97%が空き家状態、その地域にも富裕層だけが住む要塞都市があり、公安の建物で警察官が入り口を警備している。

2015年8月天津市の国際物流センターでの大規模爆発事故、倉庫外に水と反応して青酸ガスを発生し引火しやすいシアン化ナトリウム700トン野積み・倉庫には3千トンの化学物質、消化で使った放水で二次・三次被害が起こり、東京都中央区の2倍の被災地に直径100mクレーターが出現、死者173人、負傷798人、被災額1兆46百億円バブル崩壊以降の中国経済～鉄道貨物輸送量が△11%、自動車販売台数△5, 4%

## { 第二のポイント～大量難民で溶融化するユーロ圏 }

ドイツ人気質で～グローバリズムで労働力として移民受け入れ、シリアから数百万人が押し寄せ、ドイツはもう無理と、各国のナショナリズムが復活し、各国は人・物・金で規制化の方向。

## { 第三のポイント～大構造改革でさらにデフレ化する日本 }

農協法を改正2015年8月国会通過、日本の安全保障が崩壊に向かっている。農協が世界最大の穀物メジャーの米国カーギル社に狙われる、外国資本でも農地を所有する株式会社(農業生産法人)で49, 9%出資可能、農協金融と農地・種もみまで奪われる可能性が。

発送電分離では電気料金は下がらない、むしろ停電のリスク増大。

## { 第四のポイント～最も大切なことは知ること }

グローバリズムによるアメリカの富のかたより・貧民層の拡大・医療問題噴出。ユーロ圏はEU誕生により通貨発行権をなくし、移民拒否もできず、主権取り戻しの方向。

## { 情報を知る能力を鍛える }

情報の読み取り能力 5 原則 ① 定義する ② 細分化する ③ 他と比較する ④ 推移を見る ⑤ 関連を見る これらにより様々な常識がひっくり返る。

日本は輸出依存国である～他国比では間違い、むしろ低い、デフレ悪論もインフレ成長論も、分析・比較・推移をみると自然と方向性・真実が見えてくる。 P 1

## { 保守とは国民同士が結束すること }

グローバリズムとは合いいれない、グローバリズム企業(株主・経営者の利益優先)は国の安全保障を危うくし、税金も払わない(国民・企業の一番の義務は納税)タックスヘイブンで逃避する。

## { 前例踏襲で破滅の道を歩みだす日本 }

官僚は責任を取らない、前例踏襲主義だから、日銀黒田総裁は 2 年以内にインフレ率2%の目標を掲げたが結果は出ていないし責任も取っていない。

もともと市場に出回るお金を増やすだけではインフレにはならない。

財務省は財政出動したら国家財政は破綻すると怪しげな情報を流す、そしてメディアを印象操作している。

農協は全農・農林中金・共済連の全体で収支をとる総合農協なのに規制緩和で農協から共済や金融を切り離して何を目的とするのか。

消費税増税はどうやったら止められるか、GDP2014 年マイナス成長、2015 年も 2 期連続の可能性は消費税増税と緊縮財政が原因と真実を認めること、お金の量を増やしてもインフレにも・経済成長にもならない・デフレ解消もしないと。

財政均衡主義より、単年度予算を複数年度予算にすべき、民主党政権時代にハッ場ダムの建設が途中で中止となり建設業者の政府への信頼感が消えてしまった。

## { 第五のポイント～利上げに走るアメリカと途上国化する先進国 } P 2

アメリカの中央銀行であるFRBは物価安定と雇用の安定(失業率)が目標。先進国の定義に従ってみると世界で一番はアメリカ、続いて日本、イギリス。

アメリカの強みは、世界で一番学生が海外留学しない、兵器は自国で作る技術・資源・人材が全てある。

日本は世界のスパコンの環境性能を評価する「グリーン500」のランクでトップ 1・2・3 位を独占した、しかもほぼ国産で、スパコンの独自技術の世界ではアメリカと日本の競争。

本当の意味での先進国とは ① エネルギー ② 防衛 ③ 食料安全保障 が自前である事、アメリカはこの 3 つが完璧にできていること。

イギリスはEU離脱の是非を問う国民投票を 2017 年に行う・国際協定を破棄というハードルを越えるためには正しい知識が必要。

日本もTPP加入という問題は主権を奪われる恐れがあることを十分に認識すること。TPPの一番の問題は情報が公開されていないまま国会で審議されようとしていること～6000 ページにも及ぶ内容をわずか数か月で理解できず官僚の意のままになる～